



生きていこう！ つながっていこう！ みんなで集おう！ 全国保問研集会・山形集会



受付スタートの4月。東北さらに東日本各地で続く余震、そして事故処理の先が見えない「福島原発」…全国保問研集会の歴史の中でも、開催直前の時期に様々な不安を抱える事はかつてない体験です。こうした時だからこそ、改めて冷静に、未来の希望である子どもたちの命・くらしのあるべき姿、子どもたちを真ん中に大人たちの地域のあるべき姿などを深く語り合い、学び合い、元気を分かちあう事が、これまで以上に必要とされています。

全国保問研集会・山形集会は、あの「東日本大震災」から約3ヶ月目に開催されようとしていますが、この時期・この場が、今、子どもたちにとっても大人たちにとっても本当に大事になっています。全国各地のみなさんの参加を心から呼びかけます。

「東日本大震災」は岩手・宮城・福島の沿岸部を中心に「地域が姿を消す」というこれまでに経験のない事態を生みだしています。しかし、ここでも未来の希望は子どもたちであり、保育園・幼稚園は子どもたちのくらしを支えるだけでなく地域復興の中核にある事が明らかとなっています。

今回の山形集会では、「戦争」「台風」「地震」などこれまで様々な困難に直面しながらも、保育者・研究者が父母・地域のみなさんと手を取りあって、子どもたちに最善の環境を提供するために取り組んだ経験に学び、今、全国各地で取り組んでいる経験を交流することを大切にしましょう。

「大震災」からわずかのこの時期、交通手段の回復が十分ではありません。でも、徐々に回復が進んでいますので、予約などの困難な部分はあっても創意工夫で取り組みましょう。「福島原発事故」の問題も不安はありますが、この課題も冷静に正確な情報分析の中で取り組みましょう。幸い、会場となる山形は「大震災」での被害もなく、準備も万端すすんでいます。全国のみなさんが山形においで下さることを心からお待ちしています。

2011年4月

第50回全国保育問題研究集会・山形集会実行委員会